

## 株主メモ

|                      |   |
|----------------------|---|
| 事業年度                 | 毎年3月1日から翌年2月末日まで  |
| 定時株主総会               | 毎年5月  |
| 基準日                  | 毎年2月末日<br>その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。  |
| 公告方法                 | 電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。<br><a href="http://www.takeuchi-mfg.co.jp/">http://www.takeuchi-mfg.co.jp/</a><br>ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。 |
| 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社  |
| 同事務取扱場所              | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  |
| (お問合せ先)              | 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)  |

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



当社ホームページ  
(<http://www.takeuchi-mfg.co.jp/>)



証券コード 6432



Made in JAPAN. Made in NAGANO.

TAKEUCHI

第55期

中間報告書

株式会社 竹内製作所

平成28年3月1日から平成28年8月31日まで

## 企業理念

# 世界初から世界の **TAKEUCHI** へ

- ・私たちは、創造、挑戦、協調の精神で切磋琢磨し、**TAKEUCHI** のものづくりを追求します。
- ・グローバルな視野と感覚をもって、お客さまに信頼される商品とサービスを提供します。
- ・一人ひとりがもつ力を活かし、地球にやさしく、豊かな社会の実現に貢献します。

創造

Creation

豊かな感性をもって、  
ニーズに応えた商品開発をする

挑戦

Challenge

夢と若さをもって、  
より高い目標に向かって果敢に行動する

協調

Cooperation

和と思いやりの心をもって、  
調和の取れた社会との共生を図る

## 社 是

経営には緊張感と健全な危機感が不可欠である。

人材とは優秀な能力とやる気の両面を兼ね備えている人を指す。

私たちはチャレンジ精神に満ち、活気ある楽しい職場づくりに努力する。

私たちは正しい企業活動を通して人々の幸福を喜びとする。

代表取締役社長 竹内 明雄

To Our Shareholders

## 株主の皆様へ



新中期経営計画のもと  
さらなる成長を目指してまいります。

**TAKEUCHI**

株主の皆様へ第55期の中間報告書をお届けするに当たりまして、平素より賜っておりますご支援に対し、心から厚く御礼申し上げます。

当第2四半期累計期間（平成28年3月1日から平成28年8月31日まで）におきまして、当社の主要なマーケットである米国市場では、原油価格が年初から上昇基調に転じたことから鉱業の生産が持ち直す中で、雇用者数は底堅い増加が続き、経済活動の拡大も引き続き持続しています。

また、もう一方の当社主要マーケットである欧州においては、英国がEU離脱を選択しましたが、個人消費が予想以上に強く、景気悪化が確認される状況ではありません。その他の欧州経済も内需主導の緩やかな景気回復が続いています。

こうした環境下において、当社は、3年間（平成28～平成30年度）の中期経営計画を策定しました。お客様との相互発展（CUSTOMER FIRST）、新たな時代のモノづくり（INNOVATION）、創造力と実行力の結集（CREATIVITY）

を基本コンセプトに掲げ、新たなステージに向け、全社を挙げて取り組んでいます。これらの基本コンセプトのもと、市場開拓と顧客満足度の向上、生産活動の改革、コスト競争力と為替変動への対応力の向上、少数精鋭による効率的な業務運営を重点課題として注力してまいります。具体的には、欧米に経営資源を重点配置したグローバル展開の深化、新たな第三工場を活かした生産効率の最大化によるモノづくりの進化、将来に向けた筋肉質な経営体質への改善等を推進し、さらなる成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年11月

代表取締役社長 竹内 明雄

## 平成29年2月期第2四半期連結累計期間の概況

### 当社グループを取り巻く市場環境

当社グループの主力市場である米国及び欧州の当第2四半期連結累計期間（平成28年3月1日から平成28年8月31日まで）の経済は、米国では、労働市場の回復を背景にした個人消費の底堅い成長と住宅投資の緩やかな回復基調が持続し、景気は緩やかに拡大しました。英国は、EUからの離脱を選択しましたが、急激な景気後退に陥る事態は回避されており、堅調な個人消費が景気を下支えし、景気は底堅く推移しました。その他欧州は、ユーロ圏内のばらつきが見られるものの、雇用情勢の緩やかな改善を受けた個人消費が改善基調を維持し、景気の緩やかな回復が続きました。

### 当第2四半期連結累計期間の業績

このような環境の中で当社グループは、米国及び欧州とも販売促進の強化や需要が増加したことにより、ミニショベル、油圧ショベル及びクローラーローダーの当第2四半期連結累計期間の販売台数は、前年同期と比較して増加しましたが、売上高は円高の影響により概ね横這いとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は466億2千5百万円（前年同期比0.5%減）になりました。

利益面につきましては、円高により外貨建売上の円換算額が減少しましたが、販売台数の増加及び未実現利益消去額が減少したことにより、営業利益は97億6千5百万円（同3.6%増）となりました。経常利益は、14億6千9百万円の為替差損の発生などにより83億5千7百万円（同14.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用を29億1百万円計上したことなどにより54億6千万円（同11.5%減）となりました。

### 通期の見通しについて

建設機械の販売は、上期の販売が想定より好調に推移したものの下期の販売は弱めに推移すると想定したこと及び下期の為替レートを円高に想定することから、売上高は平成28年4月8日に発表した予想と同じ805億円になる見通しです。

利益面では、平成28年9月28日に通期の見通しを修正しました。下期の販売が弱めに推移するものの、上期実績が起因して、営業利益は予想よりも7億円増加し130億円、経常利益は予想よりも2億円減少し116億円、親会社に帰属する当期純利益は従来の予想と同じ77億円になる見通しです。

第3四半期以降の為替レートは、1米ドル=100円、1英ポンド=133円、1ユーロ=113円、1人民元=15円を前提としております。（従来の予想では1米ドル=107円、1英ポンド=153円、1ユーロ=123円、1人民元=16.7円としておりました。）

### 株主様への利益還元について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付けております。経営体質の強化並びに今後の事業展開に備えるために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続に努めることを基本方針としております。また、当社の剰余金の配当は、期末配当の年1回を基本的な方針としております。当期の期末配当につきましては、上記の基本方針及び業績を勘案し、前期に比べ4円増配の、1株当たり26円の配当を予想しております。

また、4月に自己株式125万株（発行済株式総数の2.55%）を取得いたしました。

## 連結財務諸表（要旨）

### 貸借対照表

（単位：百万円）

| 区 分            | 当第2四半期<br>平成28年8月31日現在 | 前 期<br>平成28年2月29日現在 |
|----------------|------------------------|---------------------|
| <b>【資産の部】</b>  |                        |                     |
| 流動資産           | 66,158                 | 66,010              |
| 固定資産           | 10,704                 | 11,205              |
| 有形固定資産         | 9,226                  | 9,737               |
| 無形固定資産         | 750                    | 812                 |
| 投資その他の資産       | 727                    | 655                 |
| <b>資産合計</b>    | <b>76,863</b>          | <b>77,216</b>       |
| <b>【負債の部】</b>  |                        |                     |
| 流動負債           | 20,079                 | 20,787              |
| 固定負債           | 1,354                  | 1,384               |
| <b>負債合計</b>    | <b>21,434</b>          | <b>22,172</b>       |
| <b>【純資産の部】</b> |                        |                     |
| 株主資本           | 56,315                 | 53,907              |
| 資本金            | 3,632                  | 3,632               |
| 資本剰余金          | 3,631                  | 3,631               |
| 利益剰余金          | 51,029                 | 46,647              |
| 自己株式           | △1,978                 | △3                  |
| その他の包括利益累計額    | △886                   | 1,136               |
| その他有価証券評価差額金   | 10                     | 10                  |
| 為替換算調整勘定       | △1,064                 | 931                 |
| 退職給付に係る調整累計額   | 166                    | 194                 |
| <b>純資産合計</b>   | <b>55,428</b>          | <b>55,043</b>       |
| <b>負債純資産合計</b> | <b>76,863</b>          | <b>77,216</b>       |

### 損益計算書

（単位：百万円）

| 区 分              | 当第2四半期累計<br>自平成28年3月1日<br>至平成28年8月31日 | 前第2四半期累計<br>自平成27年3月1日<br>至平成27年8月31日 |
|------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 売上高              | 46,625                                | 46,866                                |
| 売上原価             | 33,224                                | 33,298                                |
| 売上総利益            | 13,401                                | 13,568                                |
| 販売費及び一般管理費       | 3,635                                 | 4,139                                 |
| 営業利益             | 9,765                                 | 9,428                                 |
| 営業外収益            | 92                                    | 324                                   |
| 営業外費用            | 1,500                                 | 7                                     |
| 経常利益             | 8,357                                 | 9,745                                 |
| 特別利益             | 5                                     | 0                                     |
| 税金等調整前四半期純利益     | 8,362                                 | 9,745                                 |
| 法人税、住民税及び事業税     | 2,218                                 | 3,490                                 |
| 法人税等調整額          | 683                                   | 83                                    |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 5,460                                 | 6,172                                 |

### キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| 区 分                 | 当第2四半期累計<br>自平成28年3月1日<br>至平成28年8月31日 | 前第2四半期累計<br>自平成27年3月1日<br>至平成27年8月31日 |
|---------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー    | 2,857                                 | △107                                  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー    | △965                                  | △1,305                                |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー    | △3,053                                | △447                                  |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額    | 355                                   | △807                                  |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △807                                  | △2,668                                |
| 現金及び現金同等物の期首残高      | 20,002                                | 13,231                                |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高    | 19,195                                | 10,562                                |

## 新塗装工場が稼働を開始し、生産効率の向上を実現

今年9月、本社の「新塗装工場」が完成し、稼働を始めております。

この塗装工場の稼働により、今年2月から稼働しております第3工場への塗装品の供給が可能となり、生産効率のアップにつながっております。



新塗装工場

## 米国の製品倉庫新設によって、在庫スペースが大きく拡張



新製品倉庫

今年1月に、米国の販売子会社に「製品倉庫」を新設いたしました。

これにより、製品在庫スペースの拡大とともに、アフターパーツ用のスペースも広がり、アフターサービスの充実を図っております。

在庫スペースは、従来の12,387㎡から19,865㎡に拡張し、60%の増加となりました。

|          |              |       |         |
|----------|--------------|-------|---------|
| 発行可能株式総数 | 138,000,000株 | 単元株式数 | 100株    |
| 発行済株式の総数 | 48,999,000株  | 株主数   | 10,036名 |

|        |                                   |                 |       |
|--------|-----------------------------------|-----------------|-------|
| 商号     | 株式会社竹内製作所                         | ● 役員の状況         |       |
| (英文社名) | TAKEUCHI MFG. CO., LTD.           | 代表取締役社長         | 竹内 明雄 |
| 本店所在地  | 〒389-0601<br>長野県埴科郡坂城町大字坂城9347番地  | 取締役副社長          | 竹内 敏也 |
|        | (同所は登記上の本店所在地で、実際の業務は下記で行っております。) | 取締役副社長          | 依田 信彦 |
| 本社     | 〒389-0605<br>長野県埴科郡坂城町上平205番地     | 取締役             | 真壁 幸雄 |
| 代表者    | 代表取締役社長 竹内 明雄                     | 取締役             | 宮入 健誠 |
| 設立年月日  | 昭和38年8月21日                        | 社外取締役 (常勤監査等委員) | 草間 稔  |
| 資本金    | 3,632百万円                          | 社外取締役 (監査等委員)   | 植木 芳茂 |
| 事業内容   | 建設機械及び攪拌機等の開発、製造及び販売              | 社外取締役 (監査等委員)   | 小林 明彦 |
| 従業員数   | 693名 (連結)                         |                 |       |

### ● 主要な工場及び営業所

|    |      |        |     |        |         |
|----|------|--------|-----|--------|---------|
| 工場 | 村上工場 | 長野県埴科郡 | 営業所 | 東京営業所  | 東京都港区   |
|    | 戸倉工場 | 長野県千曲市 |     | 大阪営業所  | 大阪市中央区  |
|    | 千曲工場 | 長野県埴科郡 |     | 名古屋営業所 | 名古屋市中川区 |

### ● ネットワーク

|              |                            |
|--------------|----------------------------|
| 日本           | 株式会社 竹内製作所                 |
| 米国(販売子会社)    | TAKEUCHI MFG. (U.S.), LTD. |
| 英国(販売子会社)    | TAKEUCHI MFG. (U.K.) LTD.  |
| フランス(販売子会社)  | TAKEUCHI FRANCE S.A.S.     |
| 中国(生産・販売子会社) | 竹内工程機械(青島)有限公司             |

※上記以外の地域における販売は、各国のディストリビューター(当社とディストリビューターシップ契約を締結した販売店)を通じて販売を行っております。